

軌道 レール削正による転動騒音の低減

原題：Verringerung von Eisenbahnlärm durch Schienenschleifen
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.66 No.11 (2015-11) pp.23-27

レール踏面の削正は、疲労層の処理に加え、波状摩耗や短波長の凹凸除去、踏面形状の最適化を可能とします。さらに、車輪・レールの接触による転動騒音の低減という副次的効果を得ることができます。本記事では、削正の特性、騒音低減の可能性と削正限度についての基本的考察が示されています。

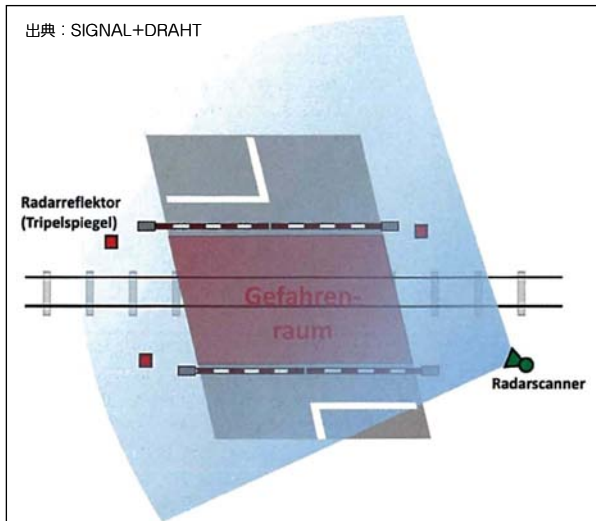


出典:Eisenbahningenieur
レールの波状摩耗

安全 レーダー走査方式による踏切障害物検知

原題：Gefahrenraumfreimeldung am BÜ mit Radarscannern aus Fahrerassistenzsystemen
誌名：SD：SIGNAL+DRAHT Vol.107 No.11 (2015-11) pp.24-27

踏切の障害物・自動車検知システムは、現在の技術で最適化され、特にコスト的に成り立つ方式ができるかどうか問題になります。Scheidt & Bachmann社はこの5年間、踏切障害物検知課題に対して、自動車部門のセンサー技術であるレーダー走査方式を応用して、新しい装置の開発を行ってきました。



出典：SIGNAL+DRAHT
踏切におけるレーダーセンサーの配置

経営 基幹ネットワークの改軌が鉄道の競争力強化に重要

原題：A change of gauge
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.171 No.11 (2015-11) p.25

南アフリカ政府が公表した報告書では、衰退した鉄道ネットワークの活性化と国による介入の必要性を強調しています。貨物輸送と長距離旅客輸送を対象に、大規模な改軌が必要であるとする一方、すでに投資の進んでいる都市近郊線の改軌には触れていません。さらに、低成長下の同国経済においては、大規模な改軌が困難であることや、依然として軌間1,067mmが主流の近隣諸国との相互運用性の問題もあります。



出典:Railway Gazette International
6連のデュアルモード電気機関車にけん引された重軸重石炭列車

安全 車両火災による被害の減少をめざして

原題：In the line of fire
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.171 No.11 (2015-11) pp.54-55

2016年3月以降の新車は、EN45545-2の規定にもとづいて、より厳しい火災対策をとることが必要になります。この規格の目標は、車両火災による熱や煙(有毒ガス)による乗客や乗務員の被害を低減することです。新しい発泡エラストマーは、高い防火性を持ちながら有毒ガスの発生は最低限に抑えられます。さらに、熱絶縁特性もあり、省エネに寄与することもできます。



出典:Railway Gazette International
新しい火災安全規格の適用が2016年3月から始まる

WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ先(研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp